

親子で体験活動を楽しもう！ 『実際の体験』が子どもの成長につながる

国立青少年教育振興機構 理事 井上 智朗

今回は、「子どもの成長と体験」について考えてみましょう。

新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、実体験の機会や場が奪われ、子どもたちは室内での遊び（イェナカ体験）やバーチャルな体験が増えています。

○「体験と経験」

はじめに、子どもたちにとって体験活動が、どれほど大切なのかを考えてみます。

子どもに限らず、誰でもやったことがないことはできなくて当然です。特に知識や情報の乏しい子どもたちは、「教えてもらってないことはわからない」「体験したことがないことはできない」のは当たり前ではないでしょうか。

人は成長する過程で、一つ一つの体験による学びを経験し、その積み重ねによって課題を解決していく力（生きる力）を身につけていきます。つまり、より豊かな体験は、子どもの健やかな成長につながるということです。



○「リアル体験」のすすめ

科学技術の進展や情報化社会の成長、多様化する生活様式等社会の急激な変化に伴い、情報通信技術（ICT）を活用した「バーチャルな体験」やその場にながらの「オンライン体験」等が、身近かつ手軽にできるようになりました。もちろんICTはTPOにあわせて有効に活用していくことが必要で、場合によっては大変有効な体験活動が可能ともなります。

しかしながら、「感動」「達成感」や「生命尊重」等、自然体験活動や集団宿泊活動によるリアル体験の方が、ICT等に比べ、「刺激の強さ・大きさ」から得られる効果が増すと考えます。

活動の種類や方法に応じた「感動した刺激」「達成を感じた刺激」「生命・自然を感じる刺激」「仲間から受ける刺激」等、その刺激の強弱や種類等によっても、「自立性」「協調性」「達成感」「規範意識」「責任感」等の身につけられる力、効果が変わるため、子どもの成長には、ICTを有効に活用しながらも、リアル体験による経験（学び）を大切にしていきたいと思えます。

おわりに、子どもたちの体験不足が指摘される中、文部科学省では本年度を「体験活動推進元年」と位置づけ、様々な連携体制を構築しながら子どもたちの体験活動を推進していくこととしています。この秋、新型コロナウイルスの感染対策を十分に行った上で、各地で行われる体験活動のイベントに親子で参加してみませんか？



家庭教育コラムのバックナンバーや家庭教育学習会の情報は、大田区ホームページからご覧いただけます ⇒

